

屋久島町立岳南中学校



学校紹介

世界自然遺産・屋久島の学校

生徒会スローガン

『絆』～想いをつなぎ一人
一人が 尊敬し合える学校へ～



世界自然遺産・屋久島の南端に位置する、全校生徒80名の小規模校です。「自主・礼儀・根気・奉仕」を校訓に、夢の実現に向けて、自ら学び考え行動し、人間力を高めています。

本校の2つの取組

1. GFT

(Good Friends Time)

生徒会が中心となって企画・運営する、
仲間づくりを意識した主体的な活動です。

2. 異学年合同 意見交換

「よりよい学校」を目指して、
学年の枠を超えて真剣に話し合います。

① GFT

(Good Friends Time)

「楽しさ」が絆をつくる

GFTは、生徒会が主体となり、放課後の時間を使って行われるレクリエーション活動です。

最大の特徴は「生徒会主催」であること。
先生が企画するのではなく、生徒自身が
「みんなが仲良くなれる活動は何か」を
考え、企画から運営までを自分たちの手
で行っています。



GFTが目指すもの



仲間づくり

学級や部活の枠を超えたグループ編成にすることで、普段話すことの少ない人とも、自然に交流するきっかけが生まれます。



笑顔の共有

一緒に体を動かし、ゲームをクリアする喜びを分かち合うことで、自然と心の距離が縮まります。



主体性の育成

「自分たちで学校を楽しくする」という経験が、学校全体を良くしようとする意識につながります。

② 異学年合同による意見交換

全校生徒で学校を考える

生徒総会等の機会を活用し、1年生から3年生までが交流できるように小グループを作ります。

「みんなが学校生活を楽しく送るためにには?」「挨拶のあふれる学校にするには?」といった具体的なテーマについて、学年の壁を越えて真剣に話し合います。

効果: 異学年の考えに触れることで、多くのことを学びます。



3年生のリーダーシップと解決策

この活動の鍵は、最上級生である3年生の存在です。

話し合いの進行役

3年生が司会を務め、1・2年生が意見を出しやすいような温かい雰囲気を作ります。

具体的な解決策の決定

単なる話し合いで終わらせず、「明日からできる具体的なアクション」を必ず決めます。



対話から行動へ

異年齢の対話が
学校の文化を変えていく



共有体験



真剣な対話

「楽しい」という**共有体験**と、
「より良くしたい」という**真剣な対話**。
この2つの車輪が、いじめのない温かい学校をつくります。

生徒一人ひとりの小さな主体性が、
やがて学校全体の大きな優しさへと変わっていきます。